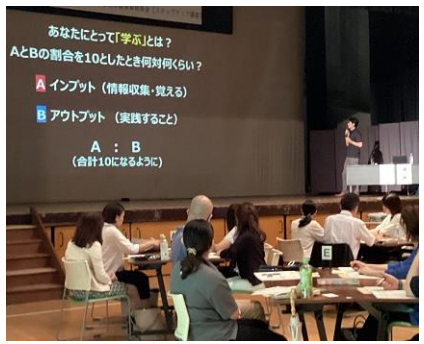


令和8年度

事業名	社会教育・生涯学習関係職員等研修会【ステップアップ講座】
期 日	令和8年7月17日（金）
参加者	50名
趣 旨	持続可能な社会の創り手の育成と日本社会に根差したウェルビーイングの向上の実現に向けて、地域における人づくり、つながりづくりを促進する企画・立案についての実践的な知識・技能を学ぶことを通して、社会教育・生涯学習関係職員の資質の向上を図る。
活動の様子	【説明】「本研修の趣旨について」 社会教育総合センター調査・研修班 社会教育主事 柴尾 裕夢
	本研修の趣旨を明確にし、参加者の研修意欲を引き出すために、研修内容における社会の要請や参加者のニーズについて図表を示しながら説明しました。 その中で、持続可能な社会の創り手の育成や日本社会に根差したウェルビーイングの向上を実現させるためには、社会教育人材による「企画立案力」の修得が求められていることを提示しました。あわせて、本テーマに対する参加者のニーズが高いことについても共有しました。 参加者からは「目標達成までの道筋を理解できた。」「社会教育の必要性を再認識できた。」「企画者からの声を聞くことで、研修直前の心構えができた。」等の声が聞かれ、本研修の意義を理解すると共に、意欲をもって研修会に臨むことができたようでした。
【研修1】講話「その企画、誰のため？住民の心を動かす事業づくり」	福岡テンジン大学 学長 岩永 真一 氏
 	岩永先生のこれまでの経験や実践をもとに、企画立案の意義や考え方について御講話いただきました。 企画とは、「A地点からB地点まで連れていく過程のことであり、非常にシンプルなこと」と分かりやすく定義をされた上で、現状把握（A地点）と最終ゴール（B地点）を明確にすることが大切であることを御教授いただきました。また、その過程（企画）をつくる上で大切となるポイントとして「5W1H」の考え方を使って組み立てていくことが重要であることも併せてお話いただきました。 参加者からは「現状理解をしてA→Bにもっていくというシンプルで分かりやすい内容だった。」「5W1Hは、やはりどの事案にも大切な視点だと分かった。」「今後の企画立案の際の軸となる考え方を得ることができた。」などの感想がありました。和やかな雰囲気の中で、学びの多い講話となりました。

【研修2】演習「企画をやったことがない人でも、企画が作れるワークショップ」

福岡テンジン大学 学長 岩永 真一 氏



【研修2】では、岩永先生による演習を行いました。学びをより深いものにするために【研修1】の講話でインプットした内容を実際に体験する参加者同士のグループワークによる交流（アウトプット）を中心に進めていただきました。

岩永先生が作成された「企画ができちゃうワークシート」を用いながら、5W1H(Why?、Who?、What?、When?、Where?、How?)の考え方に沿って、情報を組み立てて「企画」という形に仕上げていきました。自分でしっかり考えをつくる時間と、考えたことを参加者同士で共有する交流の時間を随所に設定していただき、参加者の思いに寄り添いながらアドバイスもいただきました。

参加者からは「普段、一人で企画を行っているので、様々な方と交流をすることで課題やアイデアが見えてきた。」「ここまで企画に携わったことがないゼロからのスタートでも、決まった手順で分かりやすく学べた。」「以前、企画を作るワークショップに参加したことがあり、その時は全く作れなかったが、今回は少し形になったので自信が持てた。」など、参加者同士のアウトプットを通して学びが深まったと共に、今後の業務への自信と意欲の高まりを感じる感想が多く寄せられました。

参加者の声

- ・ あっという間に時間が過ぎた。
- ・ 企画がレベルアップした気がする。今後、実践していかないといけないと思った。
- ・ 企画を考える方法が分かりやすく、グループワークがよかった。
- ・ 参加者との交流ができてとても良かった。
- ・ 講師の先生の分かりやすくて有意義な講義・演習のおかげで、企画について主体的に学ぶことができた。社会教育主事講習の学び直しにもなった。